

Game Report

開催場所：玉名市総合体育館

試合区分：第 22 回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 男子決勝戦

試合期日：2017 年 5 月 21 日(日)

試合時間：13:20～

主審：福岡 敏徳

副審：神丸 一祐

副審：紀伊 孝哉

福岡大学	8 2 ●	20	—1st—	28	8 8 ○	東海大学九州
		11	—2nd—	23		
		12	—3rd—	20		
		39	—4th—	17		

第 1 ピリオド

試合開始早々、# 1 1 趙が力強いゴール下シュートを決め、東海大が先制する。東海大がインサイドで得点を重ねていく一方、福岡大は# 7 7 川上、# 6 松尾が攻守ともに奮起し、試合は均衡する。中盤、東海大は激しいディフェンスから立て続けに速攻が決まり、たまたら福岡大がタイムアウトを請求する。その後、福岡大は# 1 4 村上がジャンプシュート、3 P シュートを立て続けに沈めるも、2 8 - 2 2 と東海大がリードして第 1 ピリオドを終える。

第 2 ピリオド

福岡大# 1 4 村上のレイアップシュートで始まった第 2 ピリオド。東海大は、# 8 佐竹の内外のシュートに加え、# 1 1 趙がリバウンド、ブロックショットとディフェンスで圧倒的な存在感を見せる。対して福岡大は# 1 7 丹、# 3 0 太田のジャンプシュートで対抗するが、点差を縮めることができない。5 1 - 3 1、東海大が 2 0 点をリードし、前半を終える。

第 3 ピリオド

前半の勢いそのままに、東海大は# 7 林を中心に素早い展開のバスケットを繰り広げる。福岡大も途中出場の# 1 1 立野のペネトレイト、# 6 松尾の力強いリバウンドからのゴール下シュートで対抗するも、東海大の勢いを止めることができない。福岡大は、後半 2 度のタイムアウトを請求するも、態勢を立て直すことができず、7 1 - 4 3 と東海大が 2 8 点をリードし、最終ピリオドを迎える。

第 4 ピリオド

運命の最終ピリオド、福岡大はインサイドとアウトサイドをうまく使い分け、中と外でバランス良く得点を重ね、東海大のペースを乱していく。対する東海大は# 1 4 権藤、# 5 北原がジャンプシュートを決めるも、福岡大の勢いを止めることができない。終盤、意地を見せたい福岡大は、# 6 松尾がゴール下で奮起し、リバウンドからゴール下のシュートで得点する。福岡大は# 7 7 川上が最後まで 3 P シュートを決め続け奮闘するもあと一歩及ばず、8 8 - 8 2 で東海大が栄光を手にした。